

新規検査受託のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、新たに社内測定を開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内申し上げます。

敬白

記

■実施日 2018年 12月 3日(月)ご依頼分より

■検査要綱

項目コード 統一コード	検査項目	判断料 実施料	採取量(mL) 必要量(mL)	採取容器 提出容器	保存	検査方法	基準値	所要日数	備考
4990 5A100	特異的IgE(f441 Jug r 1) (クルミ由来)	免疫 110	血液 2	01	冷	FEIA	0.34U _A /mL以下	2~4	
4991 5A100	特異的IgE(f443 Ana o 3) (カシューナッツ由来)	免疫 110	血清 0.5	21					

*00

【ナッツアレルギー】

ナッツアレルギーの発症率は、食物負荷試験による診断において0-1.4%(18歳未満)と高くはないものの、アナフィラキシーの誘発頻度が高く、症状も重篤です。卵や牛乳のように耐性化しにくく、生涯にわたって続くこともあります。ナッツ類の中でもクルミとカシューナッツは特定原材料に準ずるものとして、アレルギー表示が推奨されています。

【f441 Jug r 1(クルミ由来)およびf443 Ana o 3(カシューナッツ由来)の臨床的有用性】

現在、クルミアレルギー/カシューナッツアレルギーの診断に用いられる従来のf256 クルミ特異的IgE検査(以下、f256 クルミ)/f202 カシューナッツ特異的IgE検査(以下、f202 カシューナッツ)は、臨床的感度が高い(症状がある患者さんの多くが陽性となる)一方で、臨床的特異度が十分ではありません(症状のない人でも陽性となる)。また、ナッツ類はアナフィラキシーの誘発頻度が高く、症状も重篤なため、f256 クルミ/f202 カシューナッツが陽性という結果だけで食物負荷試験を実施することなく、除去指導されることが多いという課題がありました。

f441 Jug r 1(クルミ由来)はクルミの主要コンポーネントの1つであり、f256 クルミよりも臨床的特異度が高いため、f256 クルミと組み合わせて測定することにより、また、f443 Ana o 3(カシューナッツ由来)は、カシューナッツの主要コンポーネントの1つであり、f202 カシューナッツよりも臨床的特異度が高いため、f202 カシューナッツと組み合わせて測定することにより、より精度の高い診断、経口負荷試験対象者の抽出および必要最小限の原因食物の除去に寄与することができます。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社インフォメーションまでお申し付けください。